

科目名 成人看護学概論 時間割表記名 成人看護学概論		配当時期 1 年次 後期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 吉竹 あゆ (実務経験のある教員)
事前学習内容 成人期の特徴と発達課題について予習して臨む			
授業目標 1. 成人期にある対象とその特徴について理解できる。 2. 成人の生活が健康に及ぼす影響について理解できる。 3. 成人看護に必要な基礎的理論を理解できる。 4. 成人各期にある対象の特徴と保健の動向を通して、成人看護の役割理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ.			
回	学習内容	方法	備考
1	成人であるということ(人のライフサイクルから考える) 発達課題に関する理論;エリクソン、ハビガースト	講義	テキスト①③
2	ライフサイクルにおける成人期の特徴・発達課題①:青年期	講義 グループワーク 発表会	テキスト①③
3	ライフサイクルにおける成人期の特徴・発達課題②:壮年期		
4	ライフサイクルにおける成人期の特徴・発達課題③:向老期		
5	成人の生活からとらえる健康	講義	テキスト①③ ④
6	1)成人を取り巻く環境と生活の状況 2)成人の健康の状況 ①生と死の動向、②健康格差、③職業性・業務上疾病 ④受療状況、⑤生活習慣病、⑥メンタルヘルスと自殺者数		
7	成人の生活と健康をまもり育むシステム	講義 グループワーク 発表会	テキスト①④
8	1)保健・医療・福祉にかかわる施策の概要 2)保健にかかわる対策 3)医療にかかわる対策 4)福祉にかかわる対策		
9	成人への看護アプローチの基本	講義	テキスト①②
10	1)生活の中で健康行動を生み、はぐくむ援助 2)健康問題をもつ大人と看護師の人間関係 3)人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ 4)看護におけるマネジメント 5)看護実践における倫理的判断 6)チームアプローチ 7)意志決定支援 8)家族支援		

11	ヘルスプロモーションと看護	講義	テキスト①②
12	1)ヘルスプロモーションと看護 2)ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動		
13	健康をおびやかす要因と看護	講義	テキスト①②
14	1)健康バランスの構成要素 2)健康バランスに影響を及ぼす要因 3)生活行動がもたらす健康問題とその予防		④
15	筆記試験 成人期にある人への看護の役割まとめ	筆記試験 45 分 講義 45 分	
受講上の注意 授業内容により、レポート課題を課す			評価方法 筆記試験 レポート
使用するテキスト ① 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔1〕成人看護学総論 医学書院 ② 松本千明著 医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 医歯薬出版株式会社 ③ 舟島なをみ、望月美知代著 看護のための人間発達学 第5版 医学書院 ④ 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 参考文献 ①服部祥子 生涯人間発達論 一人間への深い理解と愛情を育むためにー 医学書院 ②佐藤栄子 中範囲理論入門 一事例を通してやさしく学ぶー 日総研			